

第7回 事業報告書

(2018年1月1日から2018年12月31日まで)

I 事業活動

今年度も公益目的事業として、つぎの事業に取り組みました。ひとつは、講演会や交流会などを通じて地域活性化と産業振興を目的とする「産業振興事業」であり、もうひとつは、重要文化財旧松本家住宅の見学を通じて建築文化や歴史を学ぶ場、および文化財建物を文化活動の場として活用することによる文化振興を目的とした「文化財活用事業」です。

また、昨年同様、積極的に庭園環境の整備や館内設備の補修および更新に取り組みました。

これらの事業を財政面で支えるとともに、あわせて、その収益を公益目的事業の推進拠点となる重要文化財建物の維持に充てるための「食堂運営事業」も行いました。

1 産業振興事業

(1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いて講演会を開催し、延べ576名の参加がありました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会共催ならびに後援を行い、参加者の幅広い交流の機会づくりを行いました。

当倶楽部が主催した講演会は、つぎのとおりです。

- | | | | |
|-----|----------|---|---------------------------------|
| 第1回 | 1月22日(月) | 「東アジアの安全保障と日本の危機」 | 同志社大学法学部 教授 村田 晃嗣氏 |
| 第2回 | 2月19日(月) | 「最近の経済情勢等について」 | 福岡財務支局 支局長 森山 茂樹氏 |
| 第3回 | 3月 9日(金) | 「実務経験者が語る！企業不祥事と内部告発と内部通報制度」
(株) エス・ピー・ネットワーク福岡支社 支社長 久富 直子氏 | |
| 第4回 | 4月19日(木) | 「豊かな未来に向けた躍進 GO!GO!北九州市」 | 北九州市長 北橋 健治氏 |
| 第5回 | 5月11日(金) | 「文化財の保護と理系分野 —博物館科学の仕事—」 | 独立行政法人国立文化財機構九州国立博物館科学課長 木川 りか氏 |

- 第6回 6月 7日(木)
「北九州地域の発展について」
福岡県知事 小川 洋氏
- 第7回 7月20日(金)
「色鍋島・今右衛門の伝統」
人間国宝 十四代 今泉 今右衛門氏
- 第8回 8月29日(水)
「自分らしく生きる」
SMBC 日興証券(株) 人事部 乗松 聖矢氏
- 第9回 9月12日(水)
「朝鮮半島非核化問題の行方と日本外交」
京都外国語大学客員教授・九州大学名誉教授 菅 英輝氏
- 第10回 10月19日(金)
「蔓延した誤った情報を読み解く、それでも原子力が必要な理由(わけ)
～化石燃料は有限です。子供や孫たちのエネルギーはどうなるのでしょうか？」
前北九州産業技術保存継承センター館長・
元三菱重工業常務・エネルギー問題研究所代表 金氏 顯氏
- 第11回 11月15日(木)
「九州の持続的発展に向けて」
九州経済産業局 局長 塩田 康一氏
- 第12回 12月21日(金)
「北九州経済を取り巻く世界経済の現状」
日本銀行 北九州支店長 梅田 秀彦氏

その他共催・後援事業はつぎのとおりです。

- 2月26日(月)
「スマホ時代の新しい消費と流通」
(公財)九州経済調査協会 調査研究部部長 岡野 秀之氏
- 5月22日(火)
「北九州経済の現状と中長期的な課題」
日本銀行北九州支店 支店長 緒方 公一氏
- 8月24日(金)
「北九州市の成長戦略を考える～AGI 新旧理事長に聞く～」
(公財)アジア成長研究所顧問・前理事長 末吉 興一氏
(公財)アジア成長研究所所長・新理事長 八田 達夫氏
- 10月 4日(木)
「マネジメントにおける新たなチャレンジとグローバル人材育成」
立命館アジア太平洋大学学長・ライフネット生命保険(株)創業者 出口 治明氏

(2) 交流会

① シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねた“シンポジウムの会”を11月に開催いたしました。旬な食材を使った和洋折衷料理を楽しむとともに、倶楽部の現況報告を行いました。

② 特別講演会ならびに交流会

毎年の恒例行事として、つぎのとおり開催し、福岡県知事・北九州市長ほか多数の参加があり情報交換・懇親の場として活用いただきました。

1月 5日 新年賀詞交歓会

4月 19日 北九州市長特別講演会ならびに春季懇親会

6月 7日 福岡県知事特別講演会ならびに交流会

10月 17日 秋季懇親会

③ 行政・経済団体等との交流

行政（九州経済産業局・福岡財務支局・北九州市各部局・教育委員会など）、友好諸団体（北九州商工会議所・（公財）北九州国際技術協力協会・（公財）北九州活性化協議会・（公社）北九州貿易協会、（公財）アジア成長研究所・（公財）北九州国際交流協会・福岡経済同友会など）と協力して、各種のシンポジウム・講演会・懇談会・文化活動など、地域の発展と国際友好親善に努めました。

2 文化財活用事業

1912年（明治45年）に洋館が竣工し、1972年（昭和47年）に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」の公開は、その建物の維持管理の観点から特別公開日のみとしています。今年度の特別公開日は、5月5日と10月8日に開催し、合わせて1,360名の入場者がありました。

なお、建築専門家および建築に関心のある団体や学校からの社会見学は、事前の予約を受けて対応しています。

また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に館内案内を行っており、重要文化財に直接触れることで文化財の意義・価値を認識するとともに、文化財保護意識を高めていただく機会となっています。

このほか行政や友好諸団体との文化交流では、茶道・華道・音楽会・ダンス教室などに発表の会場を提供し、文化向上に努めました。特別公開日には、ミニコンサートや茶道体験の作品発表会の場として、出展者ならびに多くの来館者に好評を博しています。

3 食堂運営事業

一般会食は、利用件数・人数の減少により苦戦しましたが、収益の柱である婚礼は、件数は減少したものの、1件あたりの平均単価を引き上げることができ、食堂事業全体では、前年並みの収入を確保できました。支出では、修繕費や広告宣伝費等を抑えることができ、当事業の収入は333,071千円（前年比1,487千円減）、支出は319,038千円（前年比7,348千円減）となり、経常利益は14,033千円（前年比5,861千円増）の黒字を計上することができました。

なお、これらに、産業振興事業・文化財活用事業および法人会計の収支を加えた全体の収支は、収入383,003千円（前年比9,641千円増）、支出368,676千円（前年比7,130千円減）となり、差引14,327千円（前年比16,772千円増）の経常利益となりました。

II 会務の概況

1 定時社員総会

2018年2月23日12時00分から当倶楽部で第6回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第6期(2017年1月1日から2017年12月31日まで)事業報告の件

決議事項

第1号議案 第6期(2017年1月1日から2017年12月31日まで)貸借対照表
および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第2号議案 理事20名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第3号議案 監事2名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

2 理事会・委員会

2018年度中に開催された理事会・委員会はつぎのとおりです。

理 事 会 3回 監 事 会 1回 役員懇談会 4回

経済調査委員会 1回 財務委員会 1回 総務委員会 2回 交流委員会 1回

3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	196社 (254人)	5社 (6人)	5社 (7人)	196社 (253人)	±0社 (-1人)
個人会員	7人	0人	0人	7人	0人
客員	7人	0人	0人	6人	-1人

4 役員の状況(2019年2月28日現在)

理事長(代表理事)	利島康司
副理事長	谷潤一
	同 伊倉信彦
	同 張本邦雄
常任理事	久富雅史
理事	高橋正幸
	同 影山英雄
	同 岡野正敏
	同 古野英樹
	同 廣渡健
	同 山口幸之助
	同 早川陽一
	同 自見榮祐
	同 金子達也
	同 庄山和利
	同 荒井孝文
	同 芳賀晟壽
	同 辻川昌徳
	同 竹田祐幸
	同 山本雄造
監事	中山岳志
	同 吉戒孝
	同 田島裕美